

# 寺尾病院

## NEWS

Vol.19

2019年12月発行



### 新任医師紹介

### 呼吸器科：野村 眞欣 医師



初めまして。このたび11月から寺尾病院の内科スタッフとして働かせていただくことになりました野村と申します。

経歴は94年熊本大学医学部卒業で当時の第一内科に入局しました。臓器別に分かれた際に呼吸器内科へ進み、当時肺がんグループの長であった松本充博先生（現 寺尾病院副院長）の薫陶を受け肺がんの勉強を10年余りやらせて頂きました。その後は公立玉名中央病院、熊本市市民病院、熊本南病院と10年ほど呼吸器内科医として勤めました。このたび縁あって寺尾病院でまた松本先生と一緒させて頂けてとても嬉しく思っています。

私が医者になって四半世紀が過ぎるわけですが、がん治療のパラダイムは従来のいわゆる殺細胞性抗がん剤から増殖シグナル伝達を抑える分子標的治療薬、そして昨年2018年にノーベル生理学・医学賞を受賞された本庶佑先生が多大なる貢献をされた免疫チェックポイント阻害薬による治療へと大きく進化してまいりま

した。がんの分野に限らず様々な疾患に対して新しい抗体製剤や遺伝子編集を応用した治療法などまさに革新的な進歩が遂げられてきています。新たなより良い治療法を重い病で苦しむ患者さんにお届けすることは医者的重要な勤めの一つだと思います。一方で最近私事ながらこんなことがありました。84歳の女性が右膝から足背までパンパンに腫らせて受診されたのです。見ますと全体に発赤調でやや硬い感じがします。熱感はあるほどないのですが押すと痛みを訴えます。経験的には蜂窩織炎、深部静脈血栓症が鑑別に浮かび、採血検査、下肢血管エコーならびにCTと矢継ぎ早に検査を行いました。どれもひっかかってきません。炎症反応も殆ど上がっていません。貧しい私の鑑別疾患数ではどうしてあげることもできず、結局、皮膚病なのではないだろうかなどといい加減なことを言ってご近所の皮膚科の先生に紹介状を書いて渡しました。後日患者さんのお話では手紙をお読みになったあと、腫れた右足を見るなり、鬱滞性皮膚炎でしようと言われたとのことでした。3週間ほど処置して頂いたところ腫れは綺麗に引いてしまいました。命に関わる病気でなくとも患者さんのQOLを著しく低下させる病は速やかに治してあげることも医者の大変な勤めの一つなのだと思わずかしながらかつづくそう思った次第です。患者さんがお困りの症状を一つでも治して差し上げられるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

### てらおトピックス①

#### 接遇マナー研修



令和元年11月27日（水）寺尾病院3階会議室にて外部講師の方に来て頂き、接遇マナー研修を行いました。接遇に関する心構えについてのお話や、手鏡を見ながら笑顔の練習、実例を交えた各種マナーの確認など、身につく講演でした。今後も定期的に接遇研修を行い、職員全体の接遇向上を目指します。



## てらおトピックス②

### 「ファインコート」施工しました



ファインコートとは床コーティングの事で、抜群の透明感が特徴です。12月に当院でも導入し、1階フロア全体の施工が終了しました。床はもちろんのこと、院内全体も明るくなり、かかりつけの患者さまにも大変好評となっております。



## 寺尾病院 実績

	R1年 9月	R1年 10月	R1年 11月
1日平均 外来数	142人	144人	151人
入院	48人	53人	51人
退院	62人	49人	58人

通所リハビリテーション 利用者実績		
R1年9月	R1年10月	R1年11月
917人	1044人	942人

### ○地域包括ケア病棟

在宅復帰率：82.6%

平均在院日数：24.1日

※R1年9月～R1年11月平均

### ○回復期リハビリテーション病棟

在宅復帰率：80.2%

入院時の重症割合：40.2%

重症改善割合：69.2%

実績指数：40.06

平均単位数：6.89単位

※R1年6月～R1年11月平均

平均在院日数：59.4日

※R1年9月～R1年11月平均

## 診療雑感 — 「移ろい」

呼吸器科：堀内 雅彦 医師

「移ろい」という言葉を耳にする時、私達はどんなことがらを思い浮かべるでしょうか。

人それぞれ異なると思いますが、『季節の移ろい』ということが真っ先に思い付くのではないのでしょうか。桜を始めとする色とりどりの草木の花々が咲き始める初春、木々の葉が黄緑から真緑へと変わっていく晩春から初夏そして盛夏、それらが黄や赤に染まりやがて落ちていく紅葉の秋、そして山々の頂きに積もる雪の銀白と澄み切った空の青とが際立つ冬、四季がはっきりとしている日本であるからこそ目にすることが出来る光景だと思います。ところで私は寺尾病院にはもう四年半ほど勤務しており、毎日車で通勤しています。高速道路を植木インターで降り国道3号線を熊本方面に向かって少し走ると、道路沿いの左側に植木青果市場が見えてきます。私はこの市場を通りかかるたびに、一年を通じて少し異なった趣での季節の移ろいを感じます。春夏秋冬、この市場にはそれぞれの季節、旬ごとに毎日多くの農産物が運び込まれ競りにかけられています。今の時期は早生種の温州ミカンが沢山運び込まれており、25mプール数個分はあると思われる広大な市場の敷地内は一面鮮やかな橙で埋め尽くされています。年が明けて三月下旬ごろになるとようやくミカンの時期も終わりとなり、やがて四月も下旬になると私の大好きである筍が搬入されるようになります。皮をかぶったままの沢山の大きな孟宗竹の筍が整然と並べられており、市場の敷地は筍の皮の焦げ茶に覆われます。筍の旬は割と短く、五月も半ばを過ぎるとこれに重なるように当地植木町で一番の特産品であるスイカがお



目見えし、これが九月下旬ごろまで続きます。最盛期は本当に市場の敷地全面が黒い縞模様が入る濃い目の緑で覆い尽くされ、他ではなかなか見ることの出来ない壮観な光景です。同じころに栗も見られるようになり、赤い網ネットに入れられた沢山の栗がしばらくの間、スイカに混じって艶のある茶を放ちます。その後はこれもまたこの近隣で多く栽培されているサツマイモが大量に運び込まれるようになり、市場はサツマイモ特有の明るい赤紫に染められます。やがてまた十月になると再びミカンの季節となって一年が巡ります。翻って日々の診療ということを見ると、この中にも「移ろい」というものを感じることはあります。それは『人の移ろい』ということで、毎日多くの患者さんの診療を行う中で、長年通って来られていたご高齢の方が亡くなられたり、介護施設に入居されたり、離れて住む子供との同居で転居されたりして見かけなくなる一方、また新たに私を頼って定期的に通われるようになる方もおられて、患者さんの顔ぶれが少しずつ変遷していくことです。中国初唐の詩人、劉希夷の漢詩に「代悲白頭翁」（白頭を悲しむの翁に代わる）という詩があります。この詩中に「年年歳歳花相似 歳歳年年人不同」（年年歳歳花相似たり 歳歳年年人同じからず）という詩句があり、意識は毎年毎年、咲く花の姿や色は同じであるのに対し、毎年毎年、それを見る人の顔ぶれは同じではなく変わっていき、悲しいかな人はすべて避けては通れない古い入る運命にあるということです。現在の私は患者さんを診る方の側であり、看護師や介護士も他者を看護し介護する立場ですが、『時の移ろい』とともにやがて私達も診られ、看護され、介護される側へと身を委ねなければなくなる運命です。このようにして考えると、当院を受診した入院されている方々をどのように診て、どのように看護や介護をしていけば患者さんやその家族にとって一番良いのかということはおのずと分かってくるのではないかと思います。

## 令和元年 健康のつどい 開催

令和元年 11月9日（土）当院3階会議室にて「健康のつどい」を開催いたしました。今回は耳鼻咽喉科 楠元医師による肺炎予防についての講話をはじめ、リハビリテーション部による飲み込み体操、看護部によるインフルエンザ対策を紹介いたしました。これからインフルエンザが流行る時期となり、日頃の予防が大切です。正しい手洗いうがい、マスクの着用でウイルス対策を行いましょう。

毎回大好評の健康チェックでは、新しく血管年齢測定器を導入し、たくさんの方にご利用いただきました。また、医師をはじめ、さまざまな専門職員による健康相談は診療外でゆっくりご相談できますのでこちらも人気となっております。

当院では地域の皆さまに健康の保持・増進、ご自身の心身の健康に関心を持ち、院内の専門職による正しい知識と情報を提供したいという思いから健康のつどいを開催しております。来年も年2回の開催を予定しております。ご興味のある方はぜひご参加ください。



健康相談



看護部による講話・マスク着用指導



健康チェック



楠元医師による講話



理学療法士による転倒危険度チェック

# 外来医師担当表

2019年11月より外来担当日が一部変更となっております。

受付時間 午前 8:30~11:30 午後 13:00~16:30 診療時間 午前 9:00~12:00 午後 14:00~17:00

診療科	午前/午後	月	火	水	木	金	土
内科	午前	城 松本 宮本 野村	堀内 宮本 一 二 三 中野	城 松本 宮本 倉八	堀内 吉村 深堀(理)	城 松本 吉村 野村(第1,3) 光武(第2,4,5)	堀内 吉村(第2以外) 野見山(第2)
	午後	堀内	松本 中野	城 倉八	深堀(理)	宮本	第1:堀内 第2:野見山 第3:吉村 第4,5:野村
呼吸器内科	午前	松本 野村	堀内	松本	堀内	松本 野村(第1,3)	堀内
	午後	岡本	松本	-	-	-	堀内(第1) 野村(第4,5)
消化器内科	午前	宮本	宮本 中野	宮本	深堀(理)	-	-
	午後	-	中野	-	深堀(理)	宮本	-
糖尿病内科	午前	-	-	-	吉村	-	-
	午後	-	-	-	-	-	-
循環器内科	午前	-	-	-	-	-	中村(第2,4)
	午後	副島	-	-	-	-	副島(随時)
神経内科	午前	-	-	-	原田	-	-
	午後	-	-	-	-	-	-
整形外科	午前	高松	高松	高松	高松	高松	高松
	午後	高松	-	高松	-	高松	-
耳鼻咽喉科	午前	楠元 寺尾	楠元 寺尾	寺尾	楠元 寺尾	楠元 寺尾	寺尾 熊大担当医(第2,4)
	午後	楠元	楠元	楠元	楠元	楠元	-
皮膚科	午前	-	-	荒川	-	-	-
	午後	-	-	荒川	-	-	-
小児科	午前	-	-	倉八	-	-	-
	午後	-	-	倉八	深堀(優)	-	-

※急患対応、緊急手術、学会出席や出張研修等により休診となる場合があります。

※日・祝日は休診です。急患の方はこれに限らず24時間対応致します。

※( ):内科と専門内科の兼務医 ※青字表示:非常勤医師



- 九州産交バス/熊本~山鹿線  
植木1丁目バス停より……徒歩約1分
- JR九州/JR鹿児島本線  
植木駅下車……タクシーで約8分
- 自家用車/九州自動車道  
植木インターより……車で約10分  
熊本市水道町交差点より……車で約30分



医療法人 寺尾会  
**寺尾病院**  
熊本市救急告示病院

〒861-5504 熊本市北区小糸山町 759  
TEL (代表) 096-272-0601  
FAX 096-273-2759  
TEL デイケア 096-245-7156  
居宅 096-272-0695